高齢者相談支援センター西部・相内

支え合いの地域づくり活動

社会資源や地域課題の把握

地域の社会資源を把握してマップや通信などで情報提供を行ったり、活動を通して地域住民は何に困っているのかを把握する事で具体的な支え合い活動に取り組んでいる。

西部地区協議体会議

連合町内会、住民協働組織、民生委員、行政、高齢者相談支援センターなどがメンバーとなり、活動や情報など共有する話し合いの場として会議を開催している。